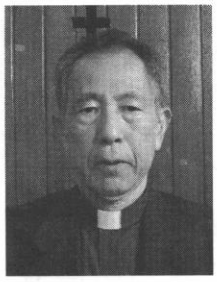
みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者　岩切　晃世
編集者　財津　悠子
印刷所　ヤマダスピード製版

主題聖句
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」　ローマの信徒への手紙　12章15節



ペトロの失敗

水俣・八代教会牧師
吉谷　正典

イエスが「来なさい」と言われたので、ペテロは船から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ～。マタイ一四・二九～三三

ペトロは水の上を歩きます。この時、彼は湖上のイエス様に向かい、必死になり、一歩一歩と歩みを進めた事でしょう。

然し途中で溺れそうになるのです。それは「強い風に気が付いて怖くなった」からです。口語訳では「風を見て怖くなった」(三十節)と記されています。

察するに、彼がイエス様から視線を逸らして、下を向いたからではないでしょうか？

そこに見えるものは、ただ強風に逆巻く波だけで、自分を支えるものは何もありませんから、不安と恐怖に陥るのは当然です。

彼の失敗を笑えません。私たちも「来なさい」とイエス様に招かれて、信仰と云う名前の「湖上の旅」を続けている者です。

道すがら、私達もなぜかしらイエス様から目を逸らし、下を向くことがあります。

途端不安になり、自分の心を見つめると、そこで見出すものと云えば、自分の弱さや愚かさ、そして醜さだけです。自分の支えとなるもの、誇りとするものは一切見当たらないのです。

イエス様と自分があまりにも離れていることを思い知らされ、ペトロのように「絶望の湖」に沈みそうになります。

もともとイエス様と私たちの間には永遠に超えることの出来ない壁があるのですから、イエス様へ近づくために自分のものは何であれ、一切役に立ちません。

だから自分を見つめないで、無心でイエス様を見つめつつ、まっすぐ前に進みましょう。よちよち歩きの幼子が、手を広げて待つ母親の元へ歩み寄るように。

その時は転んだとしても、イエス様が自ら手を差し伸べ、助けてくださるでしょう。溺れかけたペトロを、最後には御自分で水の中から引き上げられたように。

シリーズ女性会のあゆみ
～これまでとこれから～

これまでのあゆみ

筑後地区平和礼拝のこれまで

田主丸教会　永田　時雨

「筑後地区婦人会は、毎年八月十五日頃、平和の為の主日礼拝を、合同でおこなうようにします。」

一九八七年三月三十日(月)平和を作り出す為の声明を出しています。

同年八月十六日、第一回筑後地区合同平和礼拝が、久留米教会にて行われました。これより二年位前から、原爆・核問題についての講演や映画などを通しての学びがつづけられていました。この事から、平和礼拝へと集約されることになりました。その頃、四名の牧師がいて、信徒数も多く、活発な活動が成されていました。修養会、平和礼拝、会長会(年二回)、総会など行事も多く、忙しい内にも充実していた事を思い出します。その後日曜日午後から、土曜日に変わり、婦人会の名称も女性会となりましたが、人々の心は変わらず、今日まで続いています。

今年も平和礼拝は当番教会である田主丸教会で開催されました。宮川牧師をはじめ、教区役員三名、地区会員十七名、男性一名の参加があり、午前十時三十分より礼拝、祈りが捧げられました。昼食は、各持参の弁当を楽しみ、十三時よりの三分メッセージではそれぞれが、戦争体験談、日頃の思い、証しなどを語り合い充実したひと時となりました。今年も筑後地区平和礼拝が喜びの内に守られまして、ありがとうございました。

これからのあゆみ

小さな一人を

神水教会　平山　美保

「これらの小さな者を一人でも軽んじないようにしなさい。」(マタイ福音書十八章十節)九月の礼拝で「教会が真に教会であるのには、小さな方・その一人の方を大切にしているか、それができているかにかかっている、といってもよい」とメッセージを聞きました。わたしは、このイエス様のことばを重く受け止めました。いろいろな意味で「一人の小さな方」はいると思います。わたしにとっての、女性の集まりにとっての、この遣わされた「小さな方」を受け容れ、大切にし合う生き方。きっと、イエス様は願っていると思います。置かれた場所や規模、主な活動は、女性会・婦人会それぞれ特色があります。ふところの深さ、全方位に開かれた間口の広さを備えて、地域に生きるキリストの群れの一人として、歩んでいきたいと思います。

拡大会長会に参加して

大分教会　工藤　暁美

十月十七日会長会に出席することができましたことを神様に感謝します。三年前に主人が脳梗塞で倒れました。しかも要介護5で苦しい日々を送ってまいりましたが、牧師先生から「幸いに信仰という杖が与えられていますよ」と言われ、励まされました。日々神様に支えられてやってきました。途中何度も、神様にどうしてですか？と問い続けましたが、神様の御心なんだと自分に言い聞かせて受け入れていこうと思うようになりました。

この度の会長会になんとか出席でき、新しいエネルギーをいただきました。皆様高齢になって参りましたが、神様と共に生きて来た様子、そして今も生きていることが伺えました。私よりも年上の方も教会生活を送っていらっしゃる事が感じられ、私も逆境の中でも神様が共にいて助けて下さる事を信じ、又信ずる心を与えて下さいと祈って参りたいと思います。

会長とは名ばかりの弱い私で本当に申し訳なく思っております。教会の姉妹や牧師夫人が助けてくださっています。集まっている役員さんを拝見するとマリアの賛歌を思い出します。色々の協議案は神様が示して下さると思い、役員さんを心から応援しています。

さまざまな意見がでました

連盟合同役員会報告

九月十八・十九日市ヶ谷センターにて連盟合同役員会が行われました。各教区小委員会から提出された報告書を基に連盟役員会が総会の審議・協議事項として作成した見解を見当するとともに、総大会への意見を聴くための会議でした。主な協議事項は次の通りです。

(1)これからの総大会を考える
任期は従来通り三年とし、総大会は同時開催とする。但し開催場所は、東教区→他教区→東教区→他教区を繰り返すこととする。

(2)連盟役員選出方法を考える
協議事項として提案

(3)次世代信仰継承の働きへの協力と支援を考える
①次世代育成のための「いずみの会」を廃止
②経常会計の支援献金に「TNG支援」の項目を加える

(4)サバ神学院支援を考える
①新たなビジョンをもって継続する
②支援金は会員一人五〇〇円見当とし、その他にもバザー等の収益からささげることを希望する。
③「サバ神学院交流委員会(仮称)」を設置することを要望する。

(5)規約第九条の改正
連盟役員の任期について、「引き続いての再任はないと追記する」

(6)教職家族支援金から名称変更となった「特別献金」の使徒について
年間限度額を設定。用途は災害緊急支援、若手女性リーダーの育成。

連盟総会への議事提案がありましたら、二〇一五年一月十一日(日)までに、教区女性会長(岩切)宛に文書にてご提出下さいますようお願いいたします。

(岩切)

～連盟総大会のお知らせ～

会　場：国立オリンピック記念青少年総合センター
日　時：2015年6月2日(火)～4日(木)
大会講師：大塚 野百合氏
キリスト教文化・讃美歌研究家
恵泉女学園大学名誉教授
著書『讃美歌・唱歌ものがたり』他

熊本地区女性会 秋の集い

～大人の教会樂校～

十月十八日　熊本地区女性会秋の集いが大江教会で行われました。

鐘の音で礼拝が始まります。楽しい手遊びで心もほぐれて、気持ちは数十年さかのぼるかのようです。まだ歌詞が縦書きで記されていたむかしこどもさんびかも歌いました。シンプルでとても愛らしい歌です。平和をとどけるぽっぽのお話の紙芝居がありました。次に、集った姉妹の幼い日の可愛らしい写真を拝見しました。キリスト者作家が作った童謡もたくさん歌いました。もみじや赤とんぼ、故郷（ふるさと）など慣れ親しんだ歌も解説を聞いて歌うと、違った情景が浮かんだことでした。あっという間の一時間でした。礼拝の後は懐かしい駄菓子にくじ引きとお楽しみは続きます。趣向を凝らした楽しい集会、その名の通り、大人の教会樂校でした。

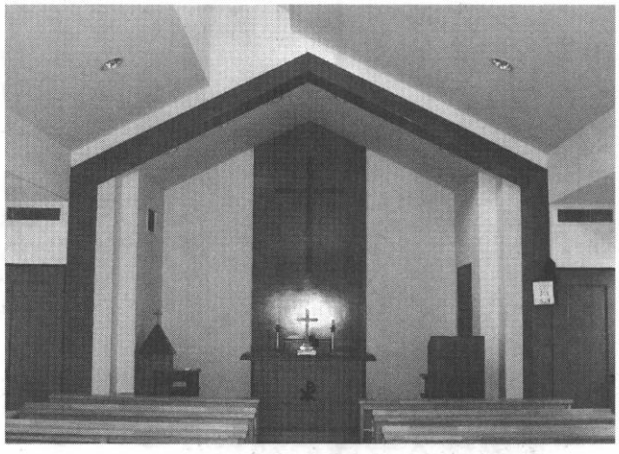
（岩切）

教会訪問　長崎教会

十月二十六日に長崎教会を訪問しました。自分の不手際で予定の列車に乗り遅れた為、教会についた時には既に礼拝が始まっていました。階段を急いで上がり、扉を押すともうそこは礼拝堂でした。

明るい光の中でメッセージを語っている女性の姿が目に飛び込んできました。司式も女性でした。オルガンの音が美しく響く礼拝ののちは、一階の集会室で私達を囲んでのお茶の会がありました。今の教会の様子を聞きました。無牧になってから、家族やお友達を誘ったので、以前より礼拝出席人数が増えたそうです。集会室では、こども文庫や太極拳の教室などが開かれていて、人の出入りが週日にもある活気を感じました。近くの中華料理店で長崎皿うどんをいただきながら、私達は長崎の為に何ができるのだろうか？と考えていると、先方から「人を送ってください」と希望があり、「証（あかし）」なら、我々にも出来るのではないかと思いました。女性会への提案も出して下さいました。長崎教会の声はきちんと持ち帰り、女性会だけでなく教区全体で考えていただこうと思いました。長崎教会の皆さんの困難を悲観せずに前向きに進まれる力強さは、殉教の地、原爆を受けた地・長崎であることと無関係ではないと思いつつ、夕焼けに見送られて、長崎を後にしました。

（財津）



2000年に新築された礼拝堂

ストラック・アビゲール	箱崎	中1	
大無田紗代	博多	高2	
脇山　翔伍	唐津	高2	
廣瀬　知登	長崎	高1	
近藤　咲弥	甘木	高1	
本間いぶ紀	甘木	中2	
中尾　結菜	甘木	中1	
椎葉ひかる	大江	高3	
新美　愛	大江	高2	
椎葉　渉	大江	高1	
潮谷　紡	神水	中2	
角本　洵	神水	中2	
安藤　風	健軍	高3	
高濱　七穂	健軍	高1	
高濱　宥樹	健軍	高1	
安藤小泉海	健軍	中2	
高濱　遼太	健軍	中1	

TNGルーテルこどもキャンプ　8月7日～9日　広島教会

原爆ドームの前で

広島キャンプ

八幡教会　岩切　祥（小五）

ぼくがルーテルこどもキャンプで学んだことは、「戦争の残酷さと平和の大切さ」です。広島平和記念資料館に行って思ったことは、原ばくはこわいということです。今も原ばくを持っている国や、それを実験している国もあるけれど、昔のような残酷な世界にならないといいなと思いました。そして平和が、地球全体に広がることを願いました。そのためにぼくは何ができるのか、これからも考えていきたいと思います。

教区中高生キャンプ　8月5日～7日　阿蘇山荘

キッチンスタッフとしての迷い

大江教会　岩崎　良子

今年は、台風が接近している悪条件の中で、中・高生キャンプが始まりました。どんな準備が必要か？どんなプログラムなのか？何も分からず、直前に参加人数、昨年の資料が届きました。早速、参加するスタッフと、検討準備を進め、当日は二台の車に道具、食材を満載して搬入完了。

全員揃っての顔合わせもないまま、キャンプは開会。私達はどのように関わればよいのか分からないまま会は終わり、三日分の多量ゴミを車に満載して帰路に着きました。

キッチンスタッフの窓口は、教育部、教区女性会と明確でなく混乱しました。

キッチンスタッフについては、教育部に戻し、抜本的な再考、再検討が必要な時が来たのだと思い提案します。

夏キャン2014

博多教会　大無田紗代（高二）

私は8月5日～7日の間、阿蘇であった中高生キャンプに参加しました。

今回のテーマは「水」でした。そのおかげか、キャンプ2日目は雨でみんなが楽しみにしていた水遊びも雨の中でしました。夜にある聖書の話では、「主の水」について考えました。「二つの泉」の話を聞いて、私は永遠の泉を選びたいなと思いました。今回のキャンプではいつもより班で考えることが多くて、みんなの意見を聞くことができ、考えが深まりました。また、今までの友達と久しぶりに会ってたくさん話したり、新しく友達になった人とも楽しく話せて嬉しかったです。

来年が最後なので次も行きたいなと思います。ありがとうございました。

食器洗いも真剣に

参加者名

こどもキャンプ

岩切　祥	八幡	小5	大山野乃花	甘木	小6
深町　賛人	箱崎	小5	椎葉ちはる	大江	小6
和田　賛太	箱崎	小5	青谷　俊彦	大江	小5
美濃部晃佑	博多	小5	高濱　信	健軍	小5

中高生キャンプ

教区女性会 第19回 定期総会のお知らせ

日時：2015年2月28日（土）　会場：箱崎教会
3年に一度の総会です。どなたでもご参加ください。
たくさんのおいでをお待ちしております。

拡大会長会会計報告

10月17日に行われました拡大会長会の会計報告は左記の通りです。

開会礼拝時に捧げられました席上献金２９、５００円はキリスト教会・広島土砂災害支援室へおくりました。神さまの慰めがありますよう、被災地の復興をお祈りいたします。

2014年　　於：八幡教会

	収　入		
1	参加費	13,000	500円×26人
2	プール制負担金	28,000	2,000円×14教会
3	開会礼拝献金	29,500	
4	会計集会費より	15,250	
	合　計	85,750	
	支　出		
1	交通費各教会プール費	41,500	12教会
2	謝礼	6,000	
3	献金	29,500	広島土砂災害支援
4	会場費	3,000	
5	献花代	2,000	
6	茶菓代	2,310	
7	印刷代	1,440	
	合　計	85,750	

教区女性会に献金3,000円をいただきました。

主な活動報告

- **第13回役員会**　7月15日　箱崎教会
- **筑後地区女性の会平和の祈り**　8月23日　田主丸教会
- **連盟合同役員会**　9月17・18日　市ヶ谷センター
- **教区中高生キャンプ支援（5万円）**　8月5～7日　阿蘇山荘
- **TNGルーテル　こどもキャンプ支援（5万円）**　8月7～9日　広島教会
- **全国青年修養会支援（5万円）**　9月14・15日　新霊山教会
- **教区壮年連盟総会・修養会**　9月22・23日　箱崎教会
- **九州版ひびきvol.8発行**　9月29日
- **第14回役員会**　10月7日　八幡教会
- **拡大会長会**　10月17日　八幡教会
- **熊本地区女性の会秋の集い**　10月18～14日　大江教会
- **教会訪問**　10月26日　長崎教会

◆編集後記◆

今18期最後の96号をお届けいたします。皆さまの三年間のご協力を深く感謝いたします。

主の降誕を覚え、女性一人一人が平和を生み出すものでありたいと願いながら、お別れをいたします。

財津　悠子

ご召天

上野　京子	姉	82歳	熊本教会	2014年 9月 6日
許田　ヒデ	姉	96歳	熊本教会	2014年 9月23日
中村　匡子	姉	76歳	水俣教会	2014年10月24日

神さまのみもとでの
平安をお祈りいたします。